



上川井だより

令和4年4月7日
横浜市立上川井小学校
校長 山崎 真紀子

4月号

ご入学 ご進級おめでとうございます

校庭の桜が美しく咲き誇り、春の瑞々しい香りを漂わせています。

命が芽吹くこの季節は、新しいことへの期待とやる気が満ち溢れる季節です。入学式には、上川井小のリーダーとして6年生も参加し、「おめでとう。」「待っていたよ。」と歓迎の言葉をかけながら新1年生15名を迎えました。小学校に入学した喜びと少しの緊張を愛らしいほおに浮かばせて、花道を歩く姿がとてもまぶしいです。豊かなかわりと学びをともに作り、子どもたちの期待に応えられるよう、教職員一同励んで参ります。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

毎年、生活科で2年生は野菜を栽培しています。昨冬も育ててみたいものを選び、プランターに苗を植え世話をしていました。「どうして、僕の小松菜は、なかなか大きくなるんだらう。」「水はあげているの?」「うん。お日様が足りないのかなあ。場所を変えてみようかなあ。」と、友達と話していました。本に書いてある通りに世話をしても、思い通りにいかないのが植物や生き物です。自分で実際に体験し、試してみることによって、思考力や判断力が身につきます。3年生は、総合で蚕を育て、糸を取る経験をしました。「思ったより大変だなあ。」「この糸がスカーフになるのか。」黒い紙を巻いた筒にきらきら光る糸を巻き取りながら、自然と生活との結びつきについて考えている様子です。実際に体験することで、世界が広がり、考え方も多角的になっていきます。1年生は、国語で学習したことを紙芝居にして、読み聞かせのVTRを作成し、6年生に届けました。すると、6年生から感想やお礼のお手紙が届き、とてもうれしそうに報告してくれました。4年生と5年生は、音楽の時間に互いの合奏を発表しあいました。リズムや音の重なりを感じながら、真剣に聴きあう姿が印象的でした。

マスク生活も2年以上に及び、学習活動の制限も一部で続いています。しかし、自分づくりをする大切な小学校生活の中で、人と関わったり体験したりすることは、豊かな価値観を育むうえで欠かせません。少人数という強みを生かし、できる形で交流や体験をする機会を設けています。今年度も子どもたちの「知りたい」「やりたい」「伝えたい」という思いを引き出し、自主性・自立心を育むことを念頭に1年間学びを作っていきたいと考えています。

この春は、「どうしてかな。」「やってみたいな。」「こうしてみたらうまいかな。」という学びの種をたくさん蒔いて、子どもたちと一緒に育てていきたいと思ひます。

今年度も安全にできることを模索しながらの活動となりますが、変わらぬご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。